

令和7年度 第1回 静岡県立磐田北高等学校 学校運営協議会議事録

1 日時 令和7年5月19日(月)

2 場所 静岡県立磐田北高等学校 さみどり会館

3 委員 堀尾 崇之(ほりお たかゆき) (令和7年度 PTA会長)(欠席)

小川 正信(おがわ まさのぶ) (特別養護老人ホーム 西貝の郷施設長)

笠井 義明(かさい よしあき) (静岡産業大学准教授)(欠席)

近藤 由美(こんどう ゆみ) (東海アクシス看護専門学校 校長)

村松 正弘(むらまつ まさひろ) (株式会社村松商会 代表取締役)

4 内容

(1) 校長挨拶(学校運営委員任命)

(2) 自己紹介

(3) 令和6年度学校関係者評価実施報告書について

(4) 令和7年度学校経営計画書について

(5) コンプライアンスについて

・不祥事根絶取組計画

・教職員の生徒指導に係る共通ルール

(6) 令和6年度本校の教育活動について

・部活動報告

・進路状況

・福祉科の活動

(7) 校舎案内(授業見学)

(8) 意見交換

(9) 諸連絡

5 議事録(要点)

(1) 校長挨拶・自己紹介

校長より委員の任命、学校運営協議会の趣旨を説明。各委員より自己紹介を行った。

(2) 会長・副会長の選出

立候補がなかったため、会長に堀尾崇之様、副会長に小川正信様を推薦。

異議なく承認された。

(3) 令和6年度学校関係者評価実施報告書について

副校長より令和6年度学校関係者評価実施報告書について報告した。

(4) 令和7年度学校経営計画書について

校長より学校経営計画および目指す学校像について説明し、承認を得た。

(5) コンプライアンスについて

副校長より令和7年度の不祥事根絶取組計画と教職員の生徒指導に係る共通ルールを説明した。

- 生徒と先生の信頼関係のあり方にもよるが、こういうものが問題となるといったことを示すのも1つの方法ではないか。
- 卒業した後に相談を受けたことにより問題になったケースもあるので注意して欲しい。
- 個人情報の扱いに関する質問があった。
- 時間外労働が認められていないのは問題である。

(6) 令和6年度本校の教育活動について

生徒課職員から令和6年度東海大会上位の部活動の結果について報告。続いて進路課職員から昨年度の進路実績および進路行事等について説明した後、福祉科長から福祉科の概要、国家試験の結果等について報告を行った。

- 今年度の部活動統廃合についての質問があった。
- 対外的な発表会に出るという目標を持てるようにすることも大事ではないか。
- 福祉科の1年生の志願増についての質問があった。

(7) 校舎案内

全学年の授業の様子を見学していただきながら、1棟から3棟の施設等を案内した。1棟の北っこルームや2棟の図書館、3棟の福祉実習室などを説明した。

(8) 意見交換等

- 磐田北高校は駅から遠く、地の利では弱いが子供たちはどのようなことに魅力を感じているのか。何に惹かれたのか聞いてみてもよいかもしれない。
 - 今年の卒業生ではかなり遠方より通学していた生徒もいた。部活動を打ち込みたいという希望の生徒は多い。
- 磐田北高校の進路指導は入試において推薦と一般どちらを重視しているのか。
 - 両方併せられるようにしたい。多様な進路に応じてその生徒にあった方法を通して希望する進路につながるようにしたいと考えている。
- 他校にはない魅力ある活動が望まれる。
 - 現在、放課後において自己向上活動の実施を目指している。
- 学校の先生以外から学ぶものは貴重。外の世界を知っている人とかかわっていくことが重要である。
- 自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されている。着用の指導を検討して

はどうか。

(9) 諸連絡

事務長より報酬と旅費の説明を行った。また副校長より今年度は学期に1回ずつ、次回は10月または11月に開催する予定であることを連絡した。